

生成AIの利用 ① ー国のガイドラインからー

生成AIの概要

◆ ChatGPT等の対話型生成AIは、あらかじめ膨大な量の情報から構築した大規模言語モデルに基づき、ある単語や文章の次に来る単語や文章を推測し、「統計的にそれらしい応答」を生成するものです。



◆ 指示文（プロンプト）の工夫で、より確度の高い結果が得られるとともに、回答は誤りを含む可能性が常にあり、時には、事実と全く異なる内容等が出力されることもあります。

◆ 対話型生成AIを使いこなすには、指示文への習熟が必要となるほか、回答は誤りを含むことがあり、あくまでも「参考の一つに過ぎない」ことを十分に認識し、最後には自分で判断するという基本姿勢が必要となります。

◆ 回答を批判的に修正するためには、対象分野に関する一定の知識や自分なりの問題意識とともに、真偽を判断する能力が必要となります。また、AIに自我や人格はなく、あくまでも人間が発明した道具であることを十分に認識する必要があります。

定量と定性 ー数字に表せない精神(マインド)が世の中を動かすー

日本サッカー協会名誉会長 川淵三郎

物事の背景を定量的に把握する考えがあった上で、その本質、精神を考える「定性的」見方でバランスを取ることが大切なのです。（中略）片方の価値観だけでは偏ってしまう。両方をバランス良く考える。組織の一員として、また指導者として、「定量」と「定性」という二つのものさしを持っていることがとても大切だ、と考えています。

出典：川淵三郎著『51歳の左遷』からすべては始まった（PHP研究所）

※ 学校経営計画や人事考課の目標等の設定に際し、踏まえなければならない重要な事項です。